

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成22年8月12日(2010.8.12)

【公表番号】特表2009-543555(P2009-543555A)

【公表日】平成21年12月10日(2009.12.10)

【年通号数】公開・登録公報2009-049

【出願番号】特願2009-519609(P2009-519609)

【国際特許分類】

C 12 Q 1/02 (2006.01)

C 07 K 1/22 (2006.01)

G 01 N 33/53 (2006.01)

G 01 N 21/78 (2006.01)

【F I】

C 12 Q 1/02

C 07 K 1/22

G 01 N 33/53 D

G 01 N 33/53 U

G 01 N 21/78 C

【手続補正書】

【提出日】平成22年6月28日(2010.6.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

各々がリガンド分子の混合物を備える1以上の特徴的なサンプルのリガンドプロファイルリング方法であって、前記方法は

- a) 前記特徴的なサンプルの各々を1以上の受容体群と接触させる段階を備え、各受容体担体は前記リガンドが結合する複数の受容体を備え、前記方法はさらに、
- b) 非結合リガンド分子を洗浄するとともに前記受容体担体の各群から結合リガンド分子を溶出することにより、別々のリガンド画分をもたらす段階と、
- c) 前記リガンド画分を分画することにより、前記特徴的なサンプルの各々に対するリガンド分子の別々のプロファイルをもたらす段階を備えることを特徴とする方法。

【請求項2】

前記1以上の受容体群が互いに異なる又は異なることを特徴とする請求項1記載の方法。

【請求項3】

前記受容体担体が細胞、細胞の混合物、細胞小器官、複数の受容体を備える小囊、又は複数の固定化された受容体を備える人工的な生体表面であることを特徴とする請求項1に記載の方法。

【請求項4】

前記細胞又は細胞小器官が生存している又は固定されていることを特徴とする請求項3に記載の方法。

【請求項5】

前記受容体が細胞表面ポリペプチド、分泌ポリペプチド、受容体の細胞外ドメイン、核

酸、炭水化物、脂質、有機分子又は無機分子であることを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 6】

前記リガンド分子がポリペプチド又は非ポリペプチド分子であることを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 7】

前記サンプルは培養上清、溶解物、有機体の体液、又は、周知のリガンドの混合物を備える生体液であることを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 8】

前記周知のリガンドの混合物が受容体に各々特異的な抗体を備えることを特徴とする請求項 7 記載の方法。

【請求項 9】

前記リガンド画分を分画する段階が多重リガンド分子を連続して又は同時に検出するとともに定量化する段階を備えることを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 10】

未知の特性又は量を有する受容体を備える標的細胞の受容体をプロファイルするキットであって、前記キットは、

a) 結合溶液と、

b) 洗浄溶液と、

c) 溶出溶液と、

d) 請求項 1 の方法に従った実験手順の使用説明書を備えることを特徴とするキット。